

眼科用電子カルテシステム『IMAGEnet e カルテ』

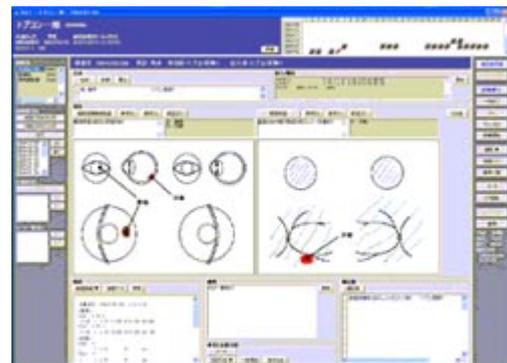
～業界初！眼科用電子カルテシステム『IMAGEnet e カルテ』～

国立大学法人 大阪大学医学部附属病院眼科の監修により開発した本格的な眼科用電子カルテを発売しました。電子カルテの大きな課題を一挙に解決します。

厚生労働省の保健医療分野の情報化に向けてのグランドデザインで示された目標の一つに「平成18年度までに病床400床以上の病院60%、全診療所の60%以上に電子カルテの普及を図る」があります。そのため電子カルテ市場はここ最近大きく前進しつつあります。

このたび当社は、1988年の発売以来業界をリードし眼科診療支援システムの代名詞と呼ばれるまでに成長したIMAGEnetシリーズの新製品として、国立大学法人・大阪大学医学部附属病院眼科の全面的協力を得て開発された、大学病院・眼科専門病院から個人開業診療所まで運用可能な眼科用電子カルテ『IMAGEnet e カルテ』を発売いたしました。本製品には大阪大学医学部附属病院眼科で長年培われてきた眼科診療における多くの経験(仕様)が盛り込まれております。

電子カルテシステムを導入する病院が急速に増える中、既存の電子カルテシステムは眼科の運用には充分配慮されておらず、なかなか受け入れられていないというのが現状です。数多くの検査を自科内で独自に行っている眼科において、眼底画像や各種検査データをどのように入力し参照するか、自科内検査であるにも関わらず検査前に検査オーダーを発行しなければならないという既存の電子カルテシステムの運用上の制約など、内科や外科には無い眼科特有の課題を『IMAGEnet e カルテ』なら一挙に解決することができます。



国立大学法人 大阪大学医学部附属病院眼科監修

IMAGE net e カルテの主な特長

- ・ 検査実施済みの検査オーダーを自動的に発行させる機能により、オーダー入力漏れなどの人的ミスを低減。診療費の受領漏れを防止し、病院経営を支援します。
- ・ 眼科診療体系や順番に則したソフトウェアにより、医師の入力のストレスを極力低減し、診察の効率を高めます。

その他の特長

- ・ 眼科専用のシエマ作成機能を提供します。眼各部位の下絵を用意し、医師の専門分野に合わせた設定が可能です。(シエマ = 作図、描画)

- ・ 電子カルテとして初めて、診察・検査の際の散瞳時間を管理する機能を提供します。
- ・ IMAGEnet シリーズからのバージョンアップにより、過去の画像・検査データを引き続き参照することができます。
- ・ 紙カルテでの診療時に問題となっていた患者様の会計待ち時間を最小限にします。
- ・ 紙カルテと同様の診療レポートを自動的に作成し、紙カルテとして出力する機能を有します。
- ・ 検査した結果を基に、自動的に紹介状や診療情報提供書、眼鏡処方箋等の書類を作成する機能を提供します。
- ・ 全ての検査データや画像を使用し、分かり易いインフォームドコンセントを行うことができます。
- ・ 診療履歴カレンダーにより、来院状況を一目で確認することができます。
- ・ 検査データ/画像データの履歴表示や経時変化のグラフ表示が可能です。

本製品は大学病院、眼科専門病院、個人開業診療所と幅広く、安心して運用いただけるよう、万全のサポート体制でお客様の快適な診療環境をご提供いたします。

販売目標、価格

販売国： 日本国内

発売目標： 初年度 20 セット

発売開始： 2004 年 11 月

国内価格： 1,000 万円(コアモジュール+3ライセンス)より～

*他電子カルテとの連結に関わる諸費用は別途発生します。

©株式会社トプコン

ニュースリリース 2004.11.8